

# 平成28年度指定管理者モニタリングシート（平成27年度実績）

## 1 施設等の概要

施設名	ひばりが丘図書館		所管課	教育部図書館（内線3231）	
指定管理者名	株式会社図書館流通センター		指定管理者所在地	東京都文京区大塚3-1-1	
指定期間	平成25年4月1日～30年3月31日	利用料金制の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	他自治体での指定管理者実績	指定管理館数(全国) 308館
施設の設置目的	生涯学習の拠点として市民の「知ること、学ぶこと」を保障するため図書館法に基づき条例で設置する。				
事業概要 (サービスの概要、自主事業等)	平成25年4月より滝山図書館・ひばりが丘図書館・東部図書館の地区館3館が指定管理者により運営されている。指定管理者制度導入後、地区館の開館時間の延長が実施され、一定のサービス拡充を図っている。				

## 2 決算額及び利用状況

市決算額	25年度	26年度	27年度	指定管理料 対前年度増減		今期指定管理者選定前 3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
				27年度-26年度	26年度-25年度		25年度	26年度	27年度	27年度/26年度	26年度/25年度
指定管理料	104,294,000	108,906,000	110,845,000			108,015,000					
使用料				1,939,000	4,612,000		128,410	146,834	150,268	102.3%	114.3%
成果配分金											

※指定管理料欄及び3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度導入1期目の施設については直営時3ヶ年の決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

## 3 モニタリング評価

評価項目	評価の視点	評価				
公平な使用の確保	<公平性の確保>使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	5	4	3	2	1
市民サービスの向上	<事業等運営>新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	5	4	3	2	1
	<施設維持管理>施設設備の維持管理のための、清掃業務、備品管理等は適切に行われているか	5	4	3	2	1
	<情報管理>個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	5	4	3	2	1
	<危機管理>事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	5	4	3	2	1
	<市民協働>利用者や地域住民が参加する図書館運営がなされているか	5	4	3	2	1
	<ノーマライゼーション>障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	5	4	3	2	1
	<モニタリング>利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	5	4	3	2	1
経費の節減など効率的な運営	<収支の改善等>サービスの水準を維持しつつ、経費削減のための工夫がなされ、利用者にとって適正な運営をしているか	5	4	3	2	1
	<経費の妥当性>管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	5	4	3	2	1
	<再委託業務>再委託する際に、適正な事務処理がなされているか	5	4	3	2	1
	<環境対策>市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	5	4	3	2	1
安定的な施設サービスの継続的な提供	<サービスの信頼度>施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	5	4	3	2	1
	<職員の専門性、配置体制>職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	5	4	3	2	1
	<労働条件>職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	5	4	3	2	1
	<経営基盤>指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	5	4	3	2	1
施設の特性によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画書を参考に、評価の視点を設定する	<利用者の拡大>広く活用される図書館を実現しているか	5	4	3	2	1
	<地域ニーズに合わせた図書館サービスの向上>地域の実情や市民の要望にあった図書館サービスを発展させているか	5	4	3	2	1
	<子ども読書推進>質の高い子ども向け事業を実施し、子ども読書活動の推進に寄与しているか	5	4	3	2	1
	<独自性のあるサービス>独自性のある自主事業を実施し、より高い成果を得たか	5	4	3	2	1
合計点数		61点/100点				

※評価は、5(期待を大きく上回る)、4(期待以上)、3(期待通り)、2(期待をやや下回る)、1(期待を下回る)の5段階評価とし、3を標準とする。

## 4 評価点（現状と課題等を含む。）

\* 3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・地域ニーズを踏まえた新規事業（バリアフリー映画祭、保育付き講座）を実施しており評価できる。
- ・職員の定着率が低く、職員の専門性も含め配置体制等について課題が見受けられる。

## 5 総合評価

公平な使用の確保	市民サービスの向上	経費節減など効率的な運営	安定的な施設サービスの継続的な提供	施設の特性によるサービス提供	
・公平性の確保	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	・設定した評価の視点	A期待大きく上回る B期待以上 C期待通り D期待やや下回る E期待下回る
C	C	C	C	B	

## 6 次年度以降に向けた方向性

\* 3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・平成27年度利用者満足度調査において、接遇等においては前年度を上回る好評価を得ており、開館時間の延長等により利用者の利便性も向上している。実際利用者も増えているが、地域の人口が増えているという現状がある。基本的な図書館サービスの充実を図る中で、若い世代の利用が多いという特性を生かした図書館としての企画の充実を図り、関係団体との協働など、地域連携の取り組みの推進を期待する。
- ・前年度に引き続き、職員の定着率が低い等配置体制に課題があるため、専門性を高める意味でも改善を期待する。